

新日本百名山の頂で万歳

絶好の晴天に恵まれた七時雨山山開き

新日本百名山の七時雨山（標高1,063m）山開きは、6月6日、七時雨コース登山口で行われました。

田代平コースと毎年交互に開催しているため、今回は七時雨コース登山口で山開き式を開催。安全祈願を済ませた一行は、抜けるような青空の下、市旗を先頭に南峰の山頂を目指しました。

山頂では、東京からやって来た登山客や、田代平コースから登った登山者を含む約170人が万歳をしたほか、市山岳協会から登頂記念の絵馬が配られました。



登頂を祝い、山頂で万歳をする参加者の皆さん



再会を喜び合い、記念写真に収まる参加者たち

郷里の思い出に花が咲く

八幡平ふるさと会の集いを東京で開催

第4回八幡平ふるさと会の集いは、5月30日、ホテルラングウッド（東京都荒川区）で開催されました。

この集いには、西根地区82人、松尾地区30人、安代地区98人の会員や、武田副市長など約240人が出席。工藤修会長が、「県ふるさと会総会で最も参加者が多い本会を誇りに思い、今後も交流を深めていきたい」とあいさつしたほか、市ふるさと大使の声優平野正人さん（田頭出身）による朗読講演や、浅沢神楽保存会20人によるアトラクションが会場を盛り上げました。

風景に宿る精霊が木像に

縄文街道起点にチカジとチカチン設置

NPO法人「風景の生命を守る地域づくりネットワーク」（田村麗丘理事長）のマスコット像設置式は、5月23日、大更・松川の沢口酒店前で行われました。

木像は、自然や風景に宿る生命を象徴する精霊として、アニメ「ミヨリの森」原作者で市ふるさと大使の漫画家小田ひで次さん（大更出身）が描いたサイカチの化身チカジ（写真左端）とチカチンを、木彫家横田秀明さん（盛岡市玉山区）が制作。今後は、秋田県や青森県の縄文遺跡などにも設置される予定です。



木像の仕上がりに満足な小田ひで次さん（右端）と横田秀明さん



「体が不自由って、大変なんだなあ」
（6月4日、東大更小キャップハンディ体験）



「顔がどろどろになっちゃった」
（6月4日、田頭小田植え）



「手はそのまま、顔を上げて、はいパチリ」
（5月31日、平館小田植え）

すなっぷギャラリー